

トミーテック ポンプ車模型を発売 ヤマコン仕様も製品化



建設現場をリアルに再現

コンクリート圧送車のヤマコン(山形市、佐藤隆彦社長)は11日、

鉄道模型などを販売するトミーテック(栃木県壬生町、岩附美智夫

社長)が企画する「GJ!はたらくのりもの百景002未来を築く

建設現場」コレクションにヤマコン仕様のコンクリートポンプ車(極東開発工業P.YI 65-39)をラインナップすると発表した。コンクリートポンプ車のアウトリガーとアーム展開といった可動を再現できるのがポイント。来年3月に8種類の模型として発売する。

ヤマコンはコンクリート圧送業のブランドینگを進めており、建設業に関わりの少ない人々へのPR手法としてコンクリートポンプ車の小型模型の

製品化を検討していた。しかし、ポンプ車は多関節のアームや伸縮・展開するアウトリガーが備えられており、製作上の観点から鉄道模型Nゲージサイズ(150分の1スケール)ミニカーとして作るのには難しいと見込まれていた。こうした中、ノウハウを持つトミーテックと1年以上検討を重ね、製品化が実現した。

今回発売する8種類の模型は同社のポンプ車のほか、カラーリングの入っていないポンプ車、コンクリートミ

キサ車、ダンプ、いすゞフォワードクレーン付平荷台、資材運搬トレッラー、重機運搬トレッラー、油圧シヨベル十クローラークレーン。発売価格は1台1760円(税込み)。

パッケージは中身の見えない「ブラインド方式」で発売するため、どの車両が出てくるのか分からず、買い集める楽しみの要素も含まれている。車両のほか、建物やフィギュア、小物が付属されており、トミーテックではジオラマ入門として最適としている。